



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・新・国際優良アジア株ファンド／アジア厳選投資』は、このたび、第4期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア（除く日本）の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### < お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス  
リテールBDマーケティング部  
電話：03-6711-9200(代表)  
受付時間：営業日の9時～17時  
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### < 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「スパークスの投資信託」より「投資信託一覧」の当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

# 交付運用報告書

## スパークス・新・国際優良 アジア株ファンド

愛称 **アジア厳選投資** 特化型

追加型投信／海外／株式

第4期(決算日 2021年5月25日)  
作成対象期間(2020年5月26日～2021年5月25日)

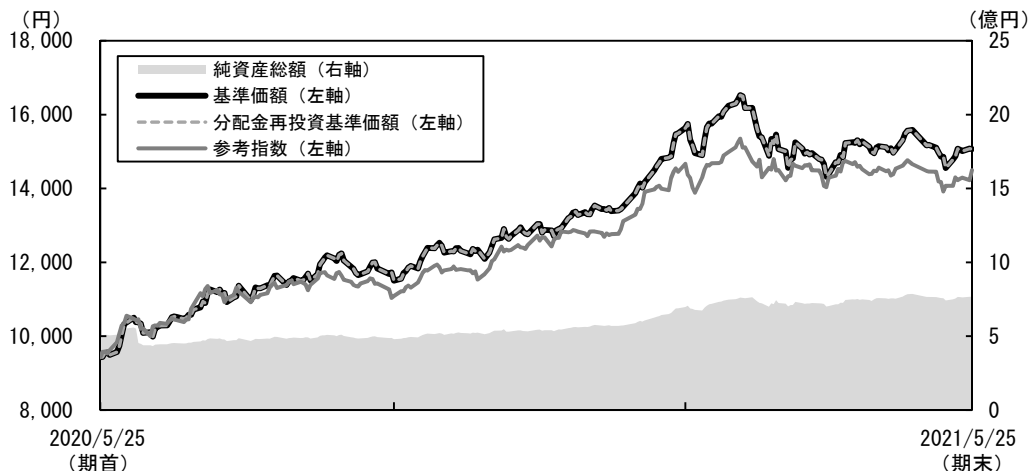
第4期末 (2021年5月25日)	
基準価額	15,069円
純資産総額	766百万円
第4期 (2020年5月26日～2021年5月25日)	
騰落率	59.8%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移 (2020年5月26日～2021年5月25日)

基準価額は期首に比べ59.8% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。



第4期首 : 9,429 円

第4期末 : 15,069 円 (既払分配金0円)

騰落率 : 59.8% (分配金再投資ベース)

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」です。

※ 参考指数は期首(2020年5月25日)の基準価額に合わせて指数化しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)への投資を通じて、アジアの優良企業への厳選投資を行いました。マザーファンドが投資している多くの市場は上昇し基準価額の上昇要因となりました。また、多くの通貨が円に対して上昇し、基準価額の上昇要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2020年5月26日～2021年5月25日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	248円 ( 128)	1.923% ( 0.993)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(販 売 会 社)	( 113)	( 0.876)	
(受 託 会 社)	( 7)	( 0.054)	
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	15 ( 15)	0.116 ( 0.116)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	5 ( 5)	0.039 ( 0.039)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	34 ( 19)	0.263 ( 0.147)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・法定書類等の作成、印刷費用
(監 査 費 用)	( 3)	( 0.023)	
(印 刷 費 用)	( 12)	( 0.093)	
合 計	302	2.341	

期中の平均基準価額は12,893円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

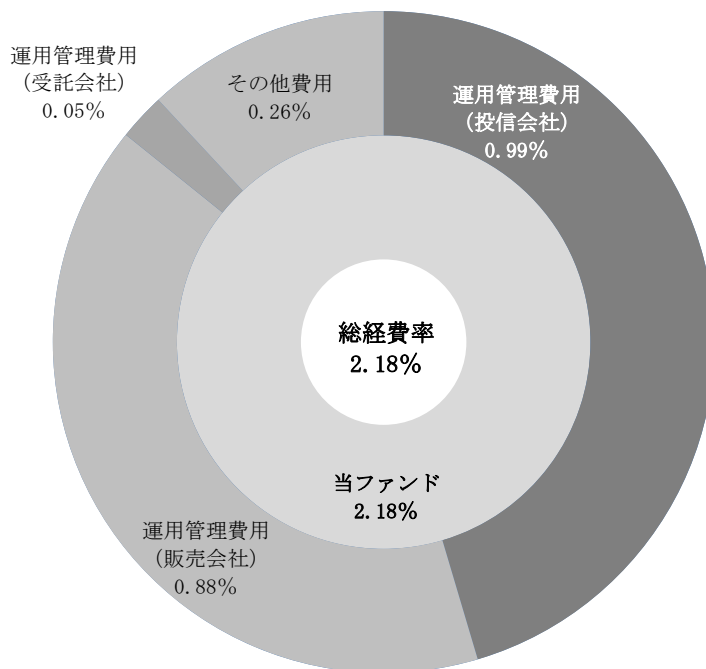
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.18%です。



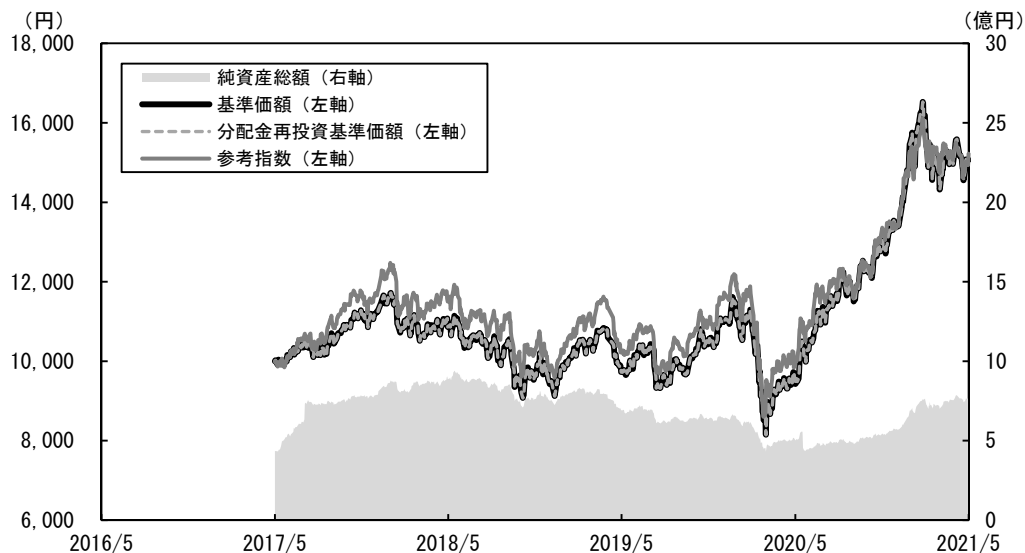
(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2016年5月25日～2021年5月25日)



※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 参考指数は当ファンドの設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

	2017年5月26日 設定日	2018年5月25日 決算日	2019年5月27日 決算日	2020年5月25日 決算日	2021年5月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,875	9,727	9,429	15,069
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.8	△ 10.6	△ 3.1	59.8
参考指数騰落率 (%)	—	15.6	△ 11.3	△ 3.5	53.7
純資産総額 (百万円)	434	887	690	502	766

※ 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

※ 参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」です。

参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## ■ 投資環境

中国では、企業の生産活動が再開したこと、新型コロナウイルスの感染拡大が一段落したことから、景気回復の兆しが見られました。10月のゴールデンウィーク(黄金周)には6億人以上が国内を旅行し、国内消費が反発しました。新型コロナウイルスの感染状況が改善し、複数のアジア諸国は国境を越えた活動を再開するべく「旅行バブル」に備えています。国境の完全な再開にはまだまだ時間を要するでしょう。「コロナ危機」によってオンライン取引が拡大し、医療関連サービスの需要が増大したため、ニューエコノミー銘柄(eコマース、オンラインサービス、ヘルスケア)が上昇しました。

2021年明けから2月中頃までは、各国における新型コロナワクチン接種の開始、景気回復への期待、世界的に潤沢な流動性資金に支えられたことなどにより、リスクオン(リスクの高い資産への投資を増やすこと。)の動きがみられ、アジア株式市場は上昇しました。

しかしその後は、高まる金利上昇懸念、グロース株からバリュー株への資金シフト、不安定な米中関係などが投資家心理に影を落とし、横ばいで推移しました。

中国政府は2021年GDP成長率目標を6%超と設定し、同時に負債比率に関する規制を再開しました。中国国内でインターネット、不動産、民間教育セクターに対する規制が強化されたことも株価の重石となりました。企業の決算はおおむね予想通りでしたが、原材料価格の上昇が今期の利益率に影響する可能性に警戒感を示した企業が数社ありました。

## ■ ポートフォリオ

### <スパークス・新・国際優良アジア株ファンド>

当ファンドは、マザーファンドを通じて、アジア(除く日本)の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

### <スパークス・アジア厳選投資マザーファンド>

アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視しました。企業のファンダメンタルズを見極め、投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資しました。

### (主なプラス要因)

中国の大手インターネット企業であるTencent Holdings(中国/コミュニケーション)は、中国経済の減速を尻目に広告収入が好調に推移したため上昇しました。新型コロナウイルス感染症による危機は、オンライン医療やオンライン教育の普及が加速するきっかけとなるかもしれません。Tencentが運営する「WeChat」などのようなオンラインプラットフォームの多くが「オンライン診療サービス」を提供しているため、「新型コロナウイルス感染を恐れ病院に行きたくない人」などが在宅診療を受けることが出来ます。また、中国全土で学校が閉鎖されていましたが、一部の学生は「オンライン授業」によって学習を継続しています。こうした「新しいトレンド」によって、新たな投資機会が生まれる可能性があります。

Taiwan Semiconductor Manufacturing Company(台湾/情報技術)は、5Gの普及(スマートフォンと基地局がいずれも成長)、クラウドコンピューティング、IoT(モノのインターネット)といったメガトレンドの加速を受け、好調な決算発表を行い上昇しました。成功要因は、三つの戦略(①技術的優位の維持、②他社より優れた製造方法の採用、③顧客の信頼獲得)をとったことにあります。小型で高性能な半導体チップを製造する上での技術的障壁はますます高くなっており、他社の参入を阻む高い壁となっています。

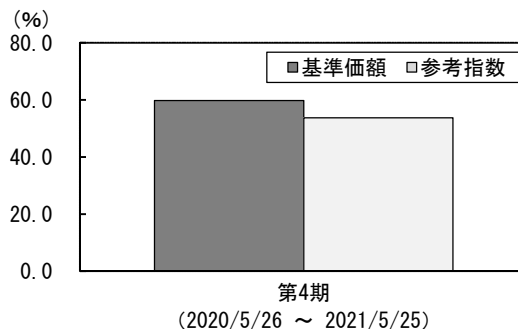
### (主なマイナス要因)

コロナ禍に起因する市場の調整後、セクター間のパフォーマンスの格差が拡大してきています。eコマース、オンラインサービス、ヘルスケア関連企業といった「ニューエコノミー銘柄」が力強い成長を見せた一方で、小売、航空、レストラン、銀行といった一部のセクターは利益の確保に苦しんでいます。そのため、Philippine Seven Corporation(フィリピン/食品・生活必需品小売り)は下落しました。しかし、新型コロナワクチンの接種が進めば、投資家心理は好転すると、当ファンドは考えています。

## ■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針および今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

### 〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項目	第4期 (2020年5月26日～ 2021年5月25日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— ( —%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,068

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### <スパークス・新・国際優良アジア株ファンド>

引き続き、マザーファンドへの投資を通じて、アジアの優良企業への厳選投資を行います。アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視します。企業のファンダメンタルズを見極め、次なる投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資します。

### <スパークス・アジア厳選投資マザーファンド>

引き続き、アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視します。企業のファンダメンタルズを見極め、次なる投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資します。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## お知らせ

該当事項はありません。



## 当ファンドの概要

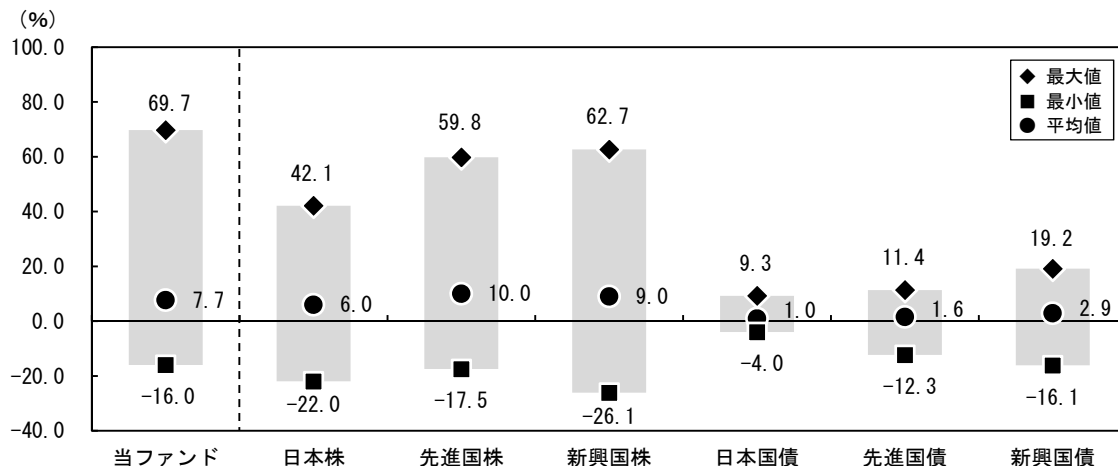
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（2017年5月26日設定）	
運用方針	当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア（除く日本）の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	アジア企業（除く日本）の株式またはアジア地域（除く日本）の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	<p>① 主として、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、アジア企業（除く日本）の株式またはアジア地域（除く日本）の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）に投資を行います。</p> <p>② マザーファンドにおいては、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。</p> <p>③ 信託財産の運用成果の評価に際して、参考指数はMSCI AC Asia ex Japan Index（円ベース）とします。ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。</p> <p>④ マザーファンドにおいては、株式等への投資に当たっては、原則として参考指数、国、業種にとらわれず、魅力的と判断した銘柄に絞り込んで選別して投資を行います。</p> <p>⑤ マザーファンドにおける株式等の銘柄選択にあたっては、香港に拠点を置くスパークス・アジア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドの投資助言を受けます。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。</li> <li>・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ul>	

※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2016年5月末～2021年4月末)



(注1) 当ファンドは2017年5月26日に設定しているため2018年5月から2021年4月の期間、他の代表的な資産クラスについては、2016年5月～2021年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

\* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

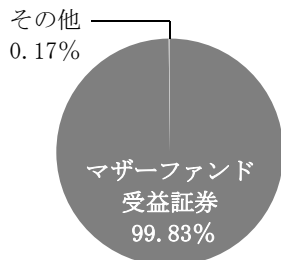
## 当ファンドのデータ

### ■ 組入資産の内容 (2021年5月25日現在)

#### < 組入ファンド >

ファンド名	第4期末
スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	99.83%
組入銘柄数	1ファンド

#### < 資産別配分 >



#### < 国別配分 >



#### < 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### ■ 純資産等

項目	第4期末 2021年5月25日
純資産総額	766,859,212円
受益権総口数	508,915,194口
1万口当たり基準価額	15,069円

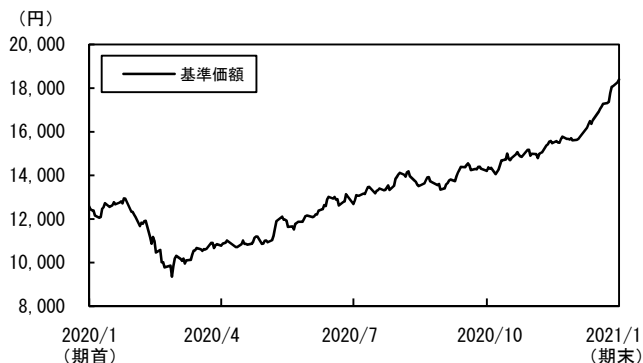
(注) 当期中における追加設定元本額は256,041,145円、同解約元本額は279,917,867円です。

■ 組入上位ファンド(銘柄)の内容

【スパークス・アジア厳選投資マザーファンド】 (2021年1月26日現在)

< 基準価額の推移 >

(2020年1月28日～2021年1月26日)



< 1万口当たりの費用明細 >

項 目	当期 2020年1月28日～ 2021年1月26日	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	18円 ( 18)	0.140% (0.140)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 ( 7)	0.054 (0.054)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	29 ( 29) ( 0)	0.226 (0.226) (0.000)
合 計	54	0.420
期中の平均基準価額は12,845円です。		

< 組入上位10銘柄 >

	銘 柄 名	通 貨	比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	新台幣ドル	14.50
2	Tencent Holdings Ltd.	香港ドル	10.48
3	AIA Group Limited	香港ドル	8.96
4	Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A	アメリカドル	8.37
5	PT Nippon Indosari Corpindo Tbk	インドネシアルピア	6.95
6	Samsung Electronics Co., Ltd.	韓国ウォン	6.76
7	Wuxi Biologics (Cayman) Inc.	香港ドル	6.73
8	WuXi AppTec Co., Ltd. Class H	香港ドル	5.64
9	Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR	アメリカドル	5.30
10	Philippine Seven Corporation	フィリピンペソ	3.56
組入銘柄数		23銘柄	

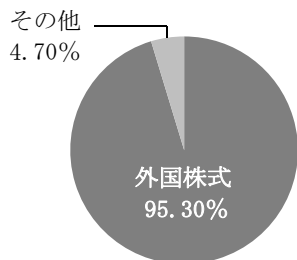
※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

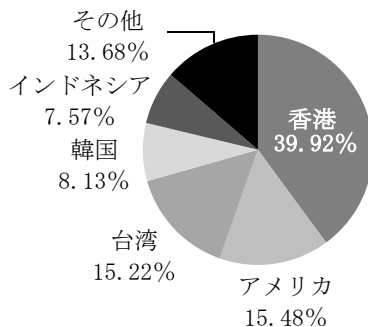
(注2) 基準価額の推移、組入上位銘柄のデータは2021年1月26日現在のものです。

(注3) 各々の表にある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

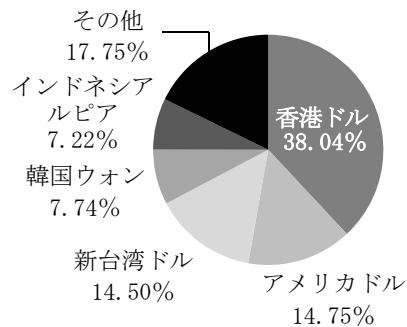
< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2021年1月26日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。国別配分は、発行国（地域）または投資国（地域）を表示しています。

## 指数に関して

### < 当ファンドの参考指数について >

当ファンドの参考指数であるMSCI AC Asia ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### < 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

#### 日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### 日本国債：NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社およびその許諾者に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

#### 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### 新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。